

# インクルーシブ公園整備計画（仮称）

障がいのある子もない子も、大人もお年寄りも  
みんなが楽しめるように



プロジェクト団体 「〇〇〇会」（調整中）

# 1、はじめに

## インクルーシブ公園とは（1/2）

- ▶ インクルーシブ公園とは、「障がいがあっても遊びやすい」ではなく、障がいのあるなし、子どもか大人かにも関係なく、すべての人が利用できる公園です。あらゆる個性や背景を持つ人たちが、一緒に混ざり合うことで、多様性への相互理解を深め、インクルーシブな地域社会につながれることが理念とされています。



幼児向け遊具



車椅子ブランコ

（エンパワージャパン株式会社 HPより）



シニア世代も楽しめる

# 1、はじめに

## インクルーシブ公園とは（2/2）

- ▶ インクルーシブ公園の整備は簡単なことではありませんが、東京都では障がいをもつ子の保護者や市民団体、自治体の連携によって整備され始めました。日本でも、さまざまな形でインクルーシブ公園づくりが広まりつつあります。
- ▶ 公園整備には財政的な課題があり、市町村では、公園を整備する為に寄付を募っているところもあります。



インクルーシブ公園にするためにはどうしたらいいか意見を出し合う児童たち  
伊勢市立四郷小学校 r52.7（HP引用）



堺市では、まだインクルーシブ遊具を設置していないので、画像はイメージです

大阪府堺市

## 2、整備概要

- ▶ いつ 着工 令和6年6月  
竣工 令和6年7月（お盆の帰省前に完成）
- ▶ どこに（候補地）

健康の里ふっくら（北側広場）  
鶴岡市熊出字東村156



健康の里ふっくら（正面）



健康の里ふっくら（北側広場）

- ▶ 何を インクルーシブ遊具の整備
  - (1) 幼児が遊べる遊具
  - (2) 体に障がいがあっても楽しめる遊具
  - (3) 高齢者が楽しめる遊具

- ▶ どのように 団体「〇〇〇の会」（調整中）

クラウドファンディングで資金を集めて整備します。

# 3、スケジュール

令和5年

- ▶ 7月 鶴岡市朝日庁舎と意見交換（整備計画の概要）
  - ▶ 9月 整備予定地の隣接「温泉ぼんぼ」の運営団体と意見交換
  - ▶ 10月 整備予定地の隣接「社会福祉法人朝日ぶなの木会」と意見交換
  - ▶ 11月 先進地のインクルーシブ公園視察
  - ▶ 12月 鶴岡市、関係機関、自治会などと協議
- 
- ▶ R6. 1月 整備計画の最終調整
  - ▶ R6. 3月 クラウドファンディング →（4月着工）→（7月竣工）

## 4、おしまいに

社会は、障がい者を含めた多様な人たちで構成されています。  
障がい、性別、年齢など多様性を認め合う共生社会づくりは、地方都市でもすでに始まっています。

本企画は、公園を訪れる誰もが一緒に楽しく遊べるようにインターネット上でプロジェクトを公開して不特定多数の人に資金提供を呼びかけて共感者や賛同者から資金を集める「クラウドファンディング」により取り組みます。

私たち鶴岡市民の小さなちからが、多くの方から理解を得ることで、市民と関係団体、そして自治体が連携を図りインクルーシブ公園を実現させるプロジェクトです。